

平成25年度

農業振興公社ニュース

第20号

新年度のあいさつ

公益社団法人 宮崎県農業振興公社 理事長 宮脇 和寛



農業・農村が多くの課題に直面する中、当公社は、農地の担い手への集積や担い手の確保・育成、畜産経営基盤の強化、新たな農業ビジネスの実現など、本県農業の振興に欠くことのできない重要な事業に取り組んでいます。今年度も「公社は農業者のためにある」ということを念頭に置きながら、役職員一体となって各種事業を推進してまいりますので、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、各事業ごとに主な取組を紹介します。

まず農地部門では、農地の売買、賃借等による担い手への農地集積を進めるとともに、保有している口蹄疫埋却地について、売却に向け再生整備に着手します。

担い手支援部門では、関係機関との密接な連携の下、基金事業や就農支援資金貸付事業、就農支援対策事業により、多様な担い手の確保・育成を図ります。

畜産施設部門では、環境に配慮した生産性の高い畜産経営を確立するため、コストを意識した草地造成改良等の基本施設整備や畜舎等の農業用施設整備を進めます。

新農業支援部門では、6次産業化をサポートするため、当公社における随時の相談に加えて、今年度から農業改良普及センターごとに相談会を月1回開催します。

平成25年度 第1回理事会を開催しました。

平成25年6月3日一般社団法人宮崎県トラック協会において、理事並びに監事の出席のもと平成25年度第1回理事会を開催しました。

当理事会では、①平成24年度事業報告及び収支決算の承認、②役員を選任③規程の一部改正、④定時社員総会招集及び提出議案の承認の各議案を上程し、を原案のとおり承認されました。また、宮脇理事長及び押川常務理事が職務執行状況を報告しました。



理事会の様子

平成25年度 定時総会を開催しました。

平成25年6月26日社団法人宮崎県トラック協会において、社員47名（委任状等出席を含む。）の出席のもと、平成25年度社員総会を開催しました。

はじめに、宮脇和寛理事長が平成24年度の実施事業の成果を交えてあいさつ、引き続き河野俊嗣宮崎県知事（緒方宮崎県農政水産部長代読）の祝辞の後、宮崎県土地改良事業団体連合会 黒田 昭会長を議長に選出し、平成24年度事業報告及び収支決算並びに役員を選任の2議案を上程、原案のとおり承認されました。【総務課】



定時総会の様子

平成25年度農地保有合理化法人九州・沖縄ブロック会議（前期会議）が本県で開催されました。

平成25年6月5日～6日にかけて、農地保有合理化事業等公社事業の発展に寄与することを目的として、平成25年度農地保有合理化法人九州・沖縄ブロック連絡会議（前期会議）が九州農政局、宮崎県を来賓に迎え、本県で開催されました。

5日は、宮崎駅東口のKITEN 8階コンベンションホールで開催され、今話題となっている「農地の中間管理機構」に関する事項を中心に活発な意見交換が行われました。

6日は現地研修が行われ、農地保有合理化事業を活用した新富町のJR九州ファーム宮崎が建設中のハウスと、佐土原町の福田さんのしょうがハウスでは、経営規模や貸借の状況、経営方針などの質問や説明が活発に行われました。

また、ぽっくる村では6次化事業を活用した事業展開の説明を受け、50℃洗いについての質問もあり、野菜はその種類によって洗う温度を変えると、よりおいしく頂けるという説明を受けるなど有意義な研修となりました。

【農地課】



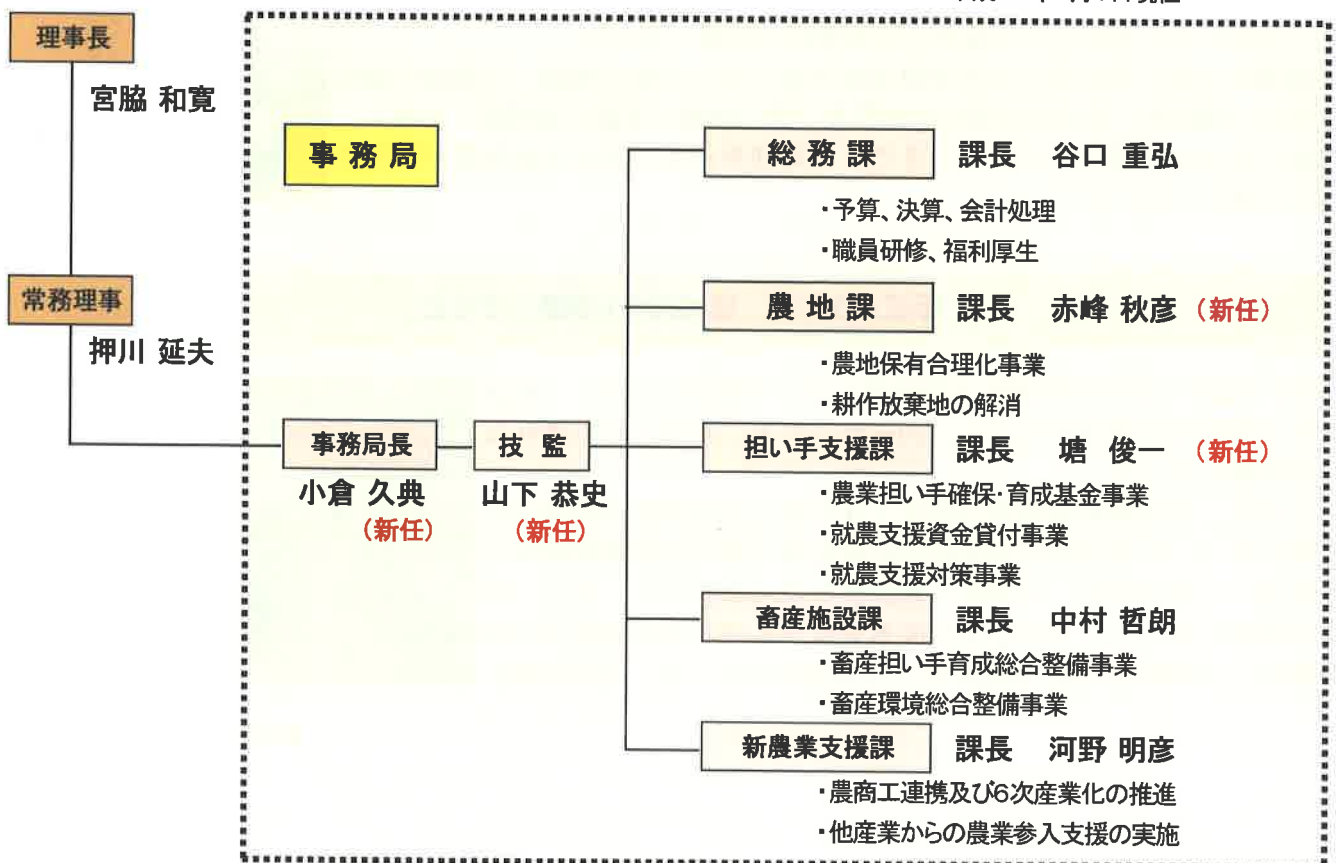
ブロック会議の様子



現地視察の様子

公社の組織体制

平成25年4月1日現在



平成25年度 第1回6次産業化総合事業計画の認定について

公社は、平成23年度から県内の6次産業化に関する総合相談窓口（ワンストップ窓口）として「みやざき6次産業化サポートセンター」を設置しております。現在6次産業化を目指す農林漁業者や農業法人に対し、専門家の「6次産業化サポーター」を派遣し、取組計画のブラッシュアップや課題解決支援を行うとともに、国の6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定支援及び認定後の計画実現に向けたフォローアップ等を行うなど、6次産業化への支援を実施しております。

平成25年度第1回総合化事業計画の認定を3月末に申請していましたが、この度、県内より6件が認定を受けましたので御紹介します。（認定は5月31日付け）

今回の認定により、総合化事業計画のこれまでの認定件数は全国では1,478件、九州では256件、県内では50件となりました。（九州第3位、全国第6位）

平成25年度第1回6次産業化総合化事業計画認定一覧（6件）

	事業者	事業名	作目	市町村
1	株式会社 宮崎ブルーベリーガーデン	ブルーベリーとブルーベリー葉エキス末を利用した加工食品及び販売事業	果樹	宮崎市
2	農事組合法人 きらり農場高木	きらり農場高木で生産した露地野菜を利用した加工品の開発及び販売	野菜	都城市
3	株式会社 サイトーファーム	自家生産黒毛和牛肉（サイトー牛）を素材とした加工食品の開発・販売	畜産	西都市
4	株式会社 KKYファーム	自社生産した大根及び甘藷を使用した加工品の開発とICタグを利用した青果加工品の開発	野菜	木城町
5	木村 幸司	地域特産のマンゴー等の果実を使用した加工食品の開発、加工及び販売事業	果樹	川南町
6	黒木 国彦	自家生産のみかんと梅を利用した加工品の開発と販売事業	果樹	都農町

平成25年度「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」の開催について

公社では、6次産業化など経営の多角化を目指す農林漁業者に必要となる知識や技術の習得支援及び6次産業化等に取り組む農林漁業者を支援する人材を育成するため、昨年に引き続き「みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾」を開催します。皆様の新たなチャレンジをお待ちしております。

- 開催期間 平成25年8月20日（火）から11月1日（金）まで
- 開催場所 ①開講式及び閉講式：宮崎県立図書館
②各コース講座：宮崎県農協会館（JA・AZMホール）
- 開設コース



平成24年度チャレンジ塾入講式の様子

①グローバル農業法人育成コース

食品加工技術、マーケティングのノウハウ、財務管理等を身につけた農林漁業者や農業法人の育成を目指します。

(ア) 受講対象者：6次産業化を目指す農林漁業者や農業法人 等

(イ) 主な講座内容：食品加工、マーケティング理論、販売戦略、経営管理、労務管理、ビジネスプラン作成等

②6次化推進プロデューサー育成コース

6次産業化における事業計画の作成や具体化など、農林漁業者や農業法人にアドバイスできる人材の育成を目指します。

(ア) 受講対象者：中小企業診断士、食品産業関係者、金融機関関係者、農林漁業関係団体 等

(イ) 主な講座内容：農林水産業の現状・課題、地域ブランド戦略、農林漁業者等へのプランニング手法、6次産業化事例研修等

- 募集定員 各コース20名程度
- 募集方法 公募により募集し、受講生審査委員会により選定
- 募集期間 平成25年6月24日（月）～7月22日（月）（公社必着）
- 受講料 有料（4千円/人）
- 講師 カリキュラムに応じた県内外の専門家等

【新農業支援課】

新規就農事例コーナー

農業法人で頑張る高木さん

豊かな照葉樹林と清冽な水に恵まれた綾町北俣。その少し小高い台地に、オリエンタルユリで有名な有限会社富花園芸があります。社長は、富田堅一さん63歳。若い頃から花への思い強く、本格的にユリを栽培し始めて15、6年たつそうです。現在、従業員を含め10名前後の陣容で、170aのユリ、150aの露地野菜などを生産し、北海道、関東、関西へ出荷されています。そうしたなか富田社長は、将来の会社経営を考え、公社へ求人票を提出するなど人材を求めておられました。



昨年8月、その候補者が現れました。京都出身22歳の高木翔太さんです。子供の頃から農業への思い入れ強く、おばあちゃんの住む町、高鍋農業高校園芸学科へ進まれました。その後、知人の農業を手伝いながら進むべき道を探していましたが、農業法人への就職を決意し、公社を訪れられました。公社では、本人の希望と受入側の意向を調整し、富花園芸を紹介したところさっそく採用決定。

「花の始まる季節に舞い降りてくれました。会社の経営方向に沿って、まずは生産技術をしっかり覚えてもらいます。数年後には市場関係者への紹介もして、農場を切り盛りして欲しいですね。」と富田社長。「暑かったけど、早速土作りから習い始めました。怒られながらもいろいろ勉強する毎日です。会社を大きくし、将来は自分の花を作れるようがんばりたいですね。」と社長を見る高木さん。社長もにっこり笑顔です。

平成24年度、本県の新規就農者は315名。うち法人就職は154名です（県地域農業推進課調べ）。社員として会社の発展をめざし働く人、働く中で社ののれん分けを受け自立される方、就職を経て将来の独立就農の可能性をさぐる人。就農のそして職業選択の幅は本当に広く、いろいろな発展可能性を感じます。

公社の農業法人就職実績は毎年10名前後。第2、第3の富花園芸、高木さんが県内各地で生まれるよう、これからも取り組んでいきたいと思えます。

宮崎県農業担い手確保・育成基金事業（以下基金事業）の内容が一部変わりました！

基金事業は、当公社が平成19年に（財）宮崎県農業後継者育成基金協会と統合した際に引き継いだ「農業担い手確保・育成基金」の運用益により、実施しています。

具体的には、農作業の体験、就農に向けた農業研修から、就農、定着に至るまで、10種類の事業を実施しています。

平成25年度は、近年活用がなかった1事業を廃止し、これまで県の補助事業として実施していた「新規就農者のためのアグリファミリー設置事業」を基金事業として、取り組むこととしました。県補助金の廃止に伴う措置であり、新規就農者に対する助言・指導を行う普及指導員等の先進農家の活動を支援することにより、新規就農者の経営安定を目指すものです。

1. 事業内容

- 1) 助成対象者は、普及指導協力員等。
- 2) 助成措置は、新規就農者1人につき年間5万円以内。
- 3) 新規就農者（就農後おおむね3年目まで）1人当たりの事業実施期間は原則として2年間。
- 4) 助成の対象となる指導・助言活動は下記のとおり。
 - ①地域における幅広い農業情報の提供、個人的相談活動
 - ②農業に取り組む姿勢や地域との融和を図るための生活指導
 - ③地域への定着を促進するための環境整備
 - ④栽培技術の勘所、経営の心構え、家庭内の協力体制の指導
 - ⑤その他新規就農者の経営安定に必要なと思われる指導・助言

なお、基金事業の詳細については、当公社または県の西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）にお尋ねください。

【担い手支援課】

新農業支援課より公社新規事業の紹介

- 1 **事業名** 「みやざき6次産業化総合支援事業」
(宮崎県口蹄疫復興対策運用型ファンド事業)
- 2 **事業目的** 農山漁村の6次産業化に向けた取組を支援し、新たな市場、付加価値、サービスを創出し、農業者の所得向上と地域の雇用創出を図り、地域の活性化を目指します。
- 3 **事業期間** 平成25年度～27年度(3ヵ年)
- 4 **事業費** 24,000千円
- 5 **事業内容**

1) 6次産業化トライアルサポート事業(ソフト事業)

- ① 補助対象事業
ア：6次産業化に係る新商品開発及び販路開拓等に関する事業
イ：6次産業化の推進に係る推進会議や研修会の開催等に関する事業
- ② 事業主体
ア：農業者、農業法人、農業団体等
イ：農業団体、市町村等
- ③ 補助対象経費
ア：謝金、旅費、委託料、需用費、役務費、使用料・賃借料 等
イ：謝金、旅費、需用費、役務費、使用料・賃借料 等
- ④ 補助率 事業費の3分の2以内
- ⑤ 補助限度額
ア：2,000千円
イ：1,000千円

2) 6次産業化推進整備支援事業(ハード事業)

- ① 補助対象事業
農産物の生産・加工・販売等に必要な機械及び施設の整備に係る事業
(六次産業化・地産地消法に基づく認定を受けた事業計画の実施に必要な取組)
- ② 事業主体
農業者、農業法人、農業団体等
(六次産業化・地産地消法に基づく事業計画の認定者に限る)
- ③ 補助対象経費 設計管理費、工事費、備品購入費 等
- ④ 補助率 事業費の2分の1以内
- ⑤ 補助限度額 5,000千円

(参考) 6次産業化関係の他の事業との関係

()内は補助率

事業名	六次化法認定者		その他		
	個人	法人	個人	法人	
ソ フ ト	国庫(6次化ネットワーク等)	○(2/3以内)	○(2/3以内)	○(1/2以内)	○(1/2以内)
	公社(6次化総合支援)	○(2/3以内)	○(2/3以内)	○(2/3以内)	○(2/3以内)
	県単(目指せ6次化)	×	×	×	×
ハ ー ド	国庫(6次化ネットワーク等)	×	○(1/2以内)	×	×
	公社(6次化総合支援)	○(1/2以内)	○(1/2以内)	×	×
	県単(目指せ6次化)	×	○(1/3以内)	×	○(1/3以内)

6次産業化地域相談会等の開催について（新農業支援課）

みやざき6次産業化サポートセンター
（公益社団法人 宮崎県農業振興公社）

サポートセンターでは、農林漁業者や農業法人の皆様の6次産業化を目指す案件発掘や地域への6次産業化の推進を図るため、新たに「6次産業化相談員（5名）」を設置し、県内の農業改良普及センターと連携して毎月1回（水曜日）「6次産業化地域相談会」を7月より普及センターを会場に開催し、地域に密着した6次産業化の推進を図っております。6次産業化に関心のある農林漁業者の皆様は、ぜひ該当地域の相談会にご参加ください。

（表1）6次産業化地域相談会の開催日程

地域名	日程	場所（相談申込先※）	連絡先（電話）
中部	第1水曜日	中部農業改良普及センター	(0985)31-6121
南那珂	第2水曜日	南那珂農業改良普及センター	(0987)21-9550
西諸県	第1水曜日	西諸県農業改良普及センター	(0984)23-3165
北諸県	第2水曜日	北諸県農業改良普及センター	(0986)38-1554
児湯	第1水曜日	児湯農業改良普及センター	(0983)43-2311
東臼杵南部	第4水曜日	東臼杵南部農業改良普及センター	(0982)68-3100
東臼杵北部	第2水曜日	東臼杵北部農業改良普及センター	(0982)32-3216
西臼杵	第4水曜日	西臼杵農業改良普及センター	(0982)72-2158

※相談会は予約制となっておりますので、相談希望の方は事前に当該普及センターに連絡してください。
なお、相談時間は10:00～15:00までの間となります。

主な行事予定（7月～8月）

・7/19(金)	農商工連携セミナー ～販路を起点とした農家所得向上の対策～	宮崎市民プラザ 4階中会議室	(新農業支援課)
・7/20(土)	新・農業人フェア	東京会場 池袋サンシャイン ワールドインポートビル	(担い手支援課)
・8/2(金)	宮崎県就職説明会	延岡会場 延岡総合文化センター	(担い手支援課)
・8/3(土)	新・農業人フェア	大阪会場 梅田スカイビル	(担い手支援課)
・8/6(火)	宮崎県就職説明会	日南会場 宮崎県南地域新地場産業創出センター	(担い手支援課)
・8/7(水)	宮崎県就職説明会	日向会場 ホテルペルフォート日向	(担い手支援課)
・8/8(木)	宮崎県就職説明会	都城会場 都城圏地域地場産業振興センター	(担い手支援課)
・8/9(金)	宮崎県就職説明会	宮崎会場 シーガイアコンベンションセンター 4Fサミットホール	(担い手支援課)
・ "	はばたけ都城！六次産業化推進大会	都城総合文化ホール 13:30～16:50	(新農業支援課)
・8/12(月)	宮崎県就職説明会	小林会場 小林中央公民館	(担い手支援課)
・8/20(火)	平成25年度みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾開講式	宮崎県立図書館	(新農業支援課)
・8/27(火)	平成25年度みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾講座	宮崎県農協会館JA・AZM	(新農業支援課)
・8/30(金)	平成25年度みやざき農林水産業経営多角化チャレンジ塾講座	宮崎県農協会館JA・AZM	(新農業支援課)

「毎週水曜日は、6ジカ相談日！各地区で相談巡回中！」
各普及センターで「6次産業化地域相談会」を毎月実施中です。

発行

公益社団法人 宮崎県農業振興公社

〒880-0913 宮崎市恒久1丁目7番地14

TEL (0985) 51-2011

FAX (0985) 51-8006

http://www.mnk.or.jp/



みやざき6次産業化キャラクター
みやざき6ジカ